



2030年

母が認知症になった。
私のことも分からない日もあるみたい。
お母さん、私だよ。

正直、辛い。
でも仕方ない。
人は誰でも老いる。

元気なうちにたくさん話していたから良かった。

これから私がやることはもう分かっている。
母が家族信託してくれたから。

私はこれから10年前の約束を果たす。

大丈夫。ちゃんとやれるよ。

家族信託相談会

※無料相談(1時間)
※要予約



日時 11月5日(木) 10:00~17:00

こちらから
お申込み
できます



5人に1人は認知症の時代がやってくる。
私とその一人にならないとは限らない。

認知症にはなりたくはない。
けど、なるものと思って行動しておきたい。

もしも認知症になったら資産が凍結してしまうらしい。
認知症になって、娘に迷惑かけたくない。
娘には娘の人生がある。

認知症になるまでは思い出の詰まった自宅で暮らしたい。
認知症になったら施設に入ろう。
その時は自宅を売ろうか？
だけど、認知症になったら契約もできないだろうな。

そうだ。

認知症になったら、自宅を売ることを
今あの子に頼んでおこう。



2020年

会場アクセス

みんなの終活窓口



京都市中京区烏丸通
錦小路上ル手洗水町659
烏丸中央ビル1F
阪急烏丸駅・地下鉄
四条駅22番出口より
北へ徒歩約3分

【主催】 みんなの終活窓口

【共催】 行政書士法人F&Partners
司法書士法人F&Partners
株式会社近畿エスクロートラスト
一般社団法人近畿シルバーライフ協会



予約
お問合せ



0120-256-680

お客様同士のご来店時間を調整し、店内の密集状態を避けるため、事前予約制とさせて頂いております。

一人暮らしになる親が心配！

■最近このような悩みが多く寄せられます



母の死亡後、父が一人暮らしになりました。父は精神的・身体的にみるみる弱っているため、将来的には介護施設への入所や僕たちとの同居も検討しています。もし自宅が不要になったら、売却や賃貸に出すことも検討していますが、父の意向も聞かなければなりませんし、今すぐ対策することはできません。

■売却までの間に、もし認知症と診断されてしまうと？



認知症になり判断能力がなくなると、不動産を売却することが難しくなります！

特に高齢者の契約の場合、認知症と診断されてしまい意思確認が取れず売買できない！という事態が多々あります。

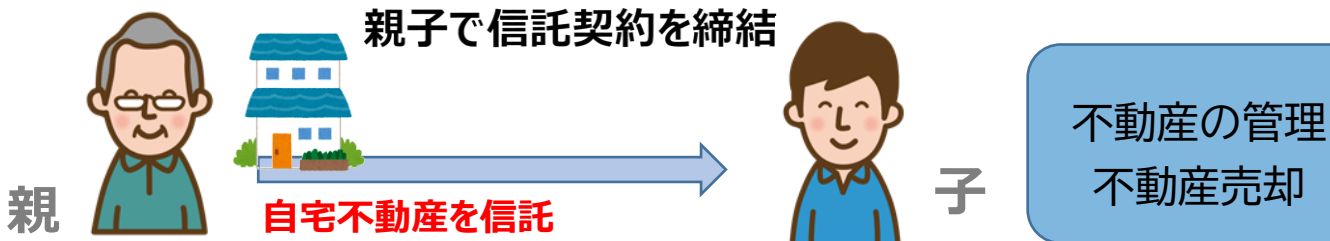


それは大変！どうすればよいのですか！？

そんな場合におすすめなのが、家族間で不動産の管理ができる**家族信託**です



■家族信託とは新しい財産管理制度です



お父さんの持ち物のままで、タイミングを見計らって息子さんが売却や修繕・管理を行えるようにします。※贈与税は発生しません